

川のまち 議会だよ

川

定例会9月会議

- | | | |
|-----------------|----|-----|
| 常任委員会審査 | 4 | ページ |
| 町政を問う！4人が一般質問 | 7 | ページ |
| 届け、若者の声！～中学生議会～ | 12 | ページ |
| 常任委員会行政調査レポート | 16 | ページ |

184号

令和7年
11月26日発行



▲本会議の様子

定例会 9月会議

9月4日～9月12日

令和7年小野町議会定例会9月会議は、9月4日から12日まで9日間の日程で開かれました。

会議では、令和6年度各会計の決算、令和7年度各会計補正予算など18件の町長提出議案と報告1件、議員提出議案1件が提出され、議案はすべて原案のとおり可決しました。

また、4名の議員が一般質問を行い、町政各般にわたり町長の考え方をただしました。

◆令和6年度の決算を認定

※1万円未満切り捨て

会計区分	歳入総額	歳出総額	決算の主な内容
一般会計	69億787万円	63億8990万円	町政各般にわたる諸事業に要した経費です。
特別会計	国民健康保険	10億2512万円	国民健康保険に関する事業に要した経費です。
	後期高齢者医療	1億3217万円	後期高齢者の医療給付に関する事業に要した経費です。
	介護保険	14億7514万円	介護サービスに関する事業に要した経費です。
	浄化槽整備推進事業	4918万円	町が浄化槽の設置と維持管理に要した経費です。
	文化・体育振興基金	261万円	文化・体育各団体へ活動補助金などに要した経費です。
	水道事業 収益的収支	1億6366万円	浄水場等の維持管理や減価償却費等の経費です。
水道事業 資本的収支	6288万円	1億2848万円	企業債償還金及び水管の布設替えなどの経費です。

◆健全化判断比率の報告

地方公共団体の財政の健全性に関する比率の報告

令和6年度決算における、町の財政の健全性に関する指標が報告されました。

数値は、いずれも基準を下回っており、町の財政が健全な段階で推移していることが確認されました。

健全化判断比率 (%)

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
小野町	—	—	5.2	—
早期健全化基準 (黄色信号)	15.0	20.0	25.0	350.0
財政再生基準 (赤信号)	20.0	30.0	35.0	

資金不足比率 (%)

区分	水道事業会計	浄化槽整備推進事業特別会計
小野町	—	—
経営健全化基準	20.0	20.0

※実質公債費比率…一般会計等が実質的に負担する公債費の標準財政規模に対する割合。数値が小さいほど健全。

※実質赤字比率、連結実質赤字比率は、黒字のため「—」で表示。

※将来負担比率は、充当可能財源が将来負担額を上回るため「—」で表示。

※資金不足額がないため「—」で表示。

◆令和7年度各会計補正予算

各会計の補正予算額は、下表のとおりです。

一般会計の収入では地方交付税、国・県支出金のほか、町有地売払い等の財産収入などが増額となりました。支出では、田村市イントラネットシステム運用負担金、新庁舎建築基本・実施設計業務委託料、ふくしま森林再生事業委託料などが増額となりました。

また、各特別会計及び各事業会計で、現時点において必要な補正が行われています。

会計区分	補正額	補正後予算額
一般会計	3億8988万円	70億2869万円
特 別 会 計	國 民 健 康 保 険	704万円
	後 期 高 齢 者 医 療	1822万円
	介 護 保 険	8774万円
	文化・体育振興基金	13万円
淨化槽整備事業会計	収 益 的 支 出	△121万円
水道事業会計	収 益 的 支 出	164万円

※1万円未満切り捨て

条例の一部改正

◆小野町税特別措置条例の一部を改正

福島県税特別措置条例の地域経済牽引事業促進区域における課税免除に係る条項の一部改正に伴い、固定資産税が課税免除となる対象施設の設置期限を変更するため所要の改正を行うもの。

規約変更

◆福島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福島県市町村総合事務組合規約の一部変更

南会津地方環境衛生組合が令和7年3月31日に解散したことに伴い、組合の構成団体の数を減少させるとため、福島県市町村総合事務組合規約の変更を行うもの。



議員提出議案

◆議員派遣について

小野町議会会議規則第127条第1項により、議案の審査又は町の事務調査などのため議員を県内外に派遣することについて提案したものです。

議案提出者：竹川 里志議員

人事案件

◆人権擁護委員候補者を適任と認定

人権擁護委員の候補者として、大方峯子氏（飯豊上・再任）、草野幸雄氏（塙庭一区・新任）を推薦するにあたり、議会の意見を求められたものであり、全員一致で推薦は適任と判断したものです。

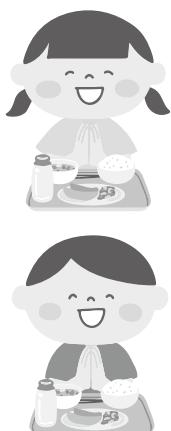
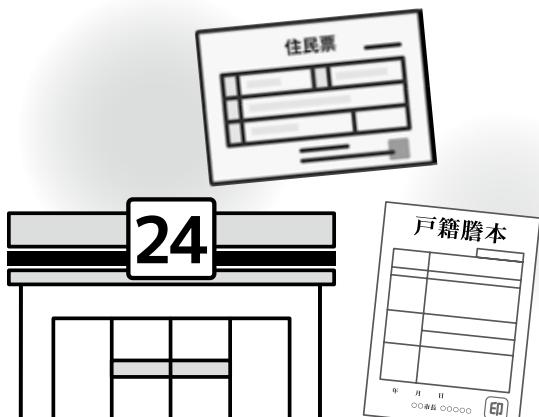
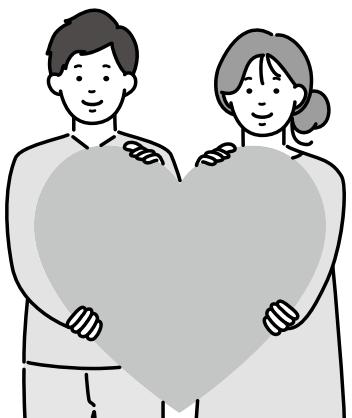


定例会9月会議

ここが聞きたい

質疑

常任委員会審査



問

婚活イベントの成果は。

答 田村市・三春町を会場に実施されたが、小野町からの参加者は無かつた。

企画政策課

答 システム標準化移行のタイミングでの切替となることから、接続事業者によりスケジュールが決められていたため、小野町の接続が遅くなつた。

問

各種証明書のコンビニ交付の利用割合は。

答 令和6年度の利用割合は、約14%である。

町民生活課

答 令和6年度の収納割合は、約34%である。

総務課

問 町税におけるコンビニ収納の割合は。

予算決算常任委員会

税務課

問 新庁舎への水道管布設計画は。

新庁舎整備室

問

物価高騰により、給食費の値上げなどの影響は無いのか。

答 現時点では、予算の範囲内で対応できている。

教育課



答 新庁舎敷地付近には本管が布設されていないため、今年度布設工事を行う予定である。

常任委員会の現地調査

現地調査を実施

予算決算常任委員会では書類審査のほか、令和6年度の主要事業から数か所を抽出し、現地調査を行いました。実際に現地を見て歩くことで、書類審査だけでは見えてこない事業の成果や、今後の課題などを確認することができました。



担当課長からの説明を受ける



街なか道路歩道整備工事



児童館建築工事



児童館 遊戯室



児童館 児童クラブ室

審議した議案と各議員の賛否

・賛成が「○」、反対は「×」と表示します。

・田村弘文議長は採決に加わりません。・羽生洋市議員は定例会9月会議欠席のため、採決に加わりません。

会議名	提出区分	議案名	可否	古崎泰介	橋本善雄	國分順一	羽生洋市	會田百合子	緑川久子	先崎勝馬	竹川里志	宗像芳男	水野正廣	中野孝一
定例会9月会議	町長	小野町税特別措置条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
		福島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福島県市町村総合事務組合規約の一部変更について	可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
		令和6年度小野町一般会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
		令和6年度各特別会計等歳入歳出決算の認定 6件	認定	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
		令和7年度小野町一般会計補正予算	可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
		令和7年度各特別会計等補正予算 6件	可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
		人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めるについて	適任	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
		人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めるについて	適任	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
	議員	議員派遣について	可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○

※提出区分欄の「町長」は町長提出議案、「議員」は議員提出議案を示します。

◆議会費の公表

議会基本条例第22条第2項の規定により、令和6年度の議会費の使途を公表します。



項目	金額	使途の内容
職員人件費	1936万円	事務局職員に係る人件費です。
議員報酬等	4987万円	議會議員の報酬や議員共済会への負担金等です。
議会運営	715万円	視察旅費、会議録作成料、各種負担金等です。
議会政策	87万円	各常任委員会の行政調査及び調査活動です。
議会だより発行	78万円	おのまち議会だより4回分の発行経費です。
合計	7803万円	

町政を問う

※紙面の関係上、「◆」の質問と答弁の内容のみ要約して掲載しています。
掲載されていない質問項目の内容等は、11月下旬に小野町のホームページに
掲載予定の「会議録」をご覧ください。

8 ページ

緑川 久子 議員

- 1 小・中学生の学力向上の取り組みについて
 - ◆ 全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）の分析結果の活用について
 - 2 「6次化と発酵のまちづくり」味噌作業部会の取り組みについて
 - ◆ 加工施設・各種機器の導入・調理備品の設備について
 - 3 あぶくま高原道路と小野インターを結ぶ接続道路の開通について
 - ・接続道路の段差の対策工事について

9 ページ

水野 正廣 議員

- 1 一般行政について
 - ◆ 町営住宅の利用状況について
 - ◆ 防犯カメラの設置状況について

10 ページ

竹川 里志 議員

- 1 教育行政について
 - ・小野町中学生議会について
- 2 河川改修について
 - ◆ 河川改修と居住環境向上について
- 3 一般行政について
 - ◆ 町制70周年記念事業について

11 ページ

古崎 泰介 議員

- 1 小野インター周辺開発について
 - ・大学の学部誘致について
- ◆ ソフトボール場の設置について
- 2 交流人口増加について
 - ・歴史的な文化・史跡を用いた誘客について
- 3 移住希望者の受け入れについて
 - ・つどっておのまち事務所について
 - ・移住希望者の相談対応について
- 4 子育て支援施策について
 - ・学校給食の米飯給食について
 - ◆ 地元産食材への理解向上について
 - ・子育て支援策の周知手法について





全国学力テストの結果と 学力向上の取り組みについて



テストの分析結果をもとに 改善に活かしていく

教育長

小野町における全国学力テストの結果

小学6年生と中学3年生を対象にした全国学力テストで、本県の平均正答率は、前回より下がり、小学生の国語、算数、理科、中学生の国語、数学、理科の全6科目で全国平均を下回るという結果が公表されました。学力テストは、学力の向上を目的に児童生徒の学力や学習状況を把握し、教育指導の充実や学習状況の改善などに活用されます。本町の学力テストの結果と学力向上の取り組みについて伺います。

まつており、学力が向上してきているものと考えられます。

全国学力テストの分析結果は、担任のほか、他学年や他教科の先生方なども加わり、多角的な視点で改善に活かしています。教育委員会においても、夏休み等における学習サポート事業や各種検定の検定料補助など、引き続き学力向上対策に取り組みます。



緑川 久子 議員

については、小学6年生は、全ての教科で県平均を上回るとともに、算数と理科は全国平均も上回りました。中学3年生は、県の結果と同様、全国平均を下回りましたが、小学6年生の時に実施した全国学力テストの結果と比較すると、県平均・全国平均との差がともに縮まりました。

しかし、設備が整っていない中での味噌づくりは、作業も大変で、中でも大豆の確保などが難しい状況になっています。発酵食品の製造・6次化・普及を目指した、拠点となる保健所の基準に合格した加工施設や各種機器の導入、調理備品の整備などについて伺います。

産業振興課長 加工施設の整備については昨年度、旧こども家庭センター分館の調理室を改修し、必要最小限の整備を行いましたが、配管からの漏水などがあり、活用するには施設全体の調査が必要な状況です。

今後、専門家による調査を行い、改修を行うとともに施設の運用についても具体策を提案していきます。各種備品の整備や大豆の確保についても、部会の皆さんと相談しながら進めます。



「6次化と発酵のまちづくり」を 目指した設備を



必要な改修を進めるとともに、 部会員との話し合いの場を設けていく





水野 正廣 議員

問

町営住宅の利用状況と今後の計画について

答

適切な管理を行いながらニーズにあった
新たな公営住宅のあり方を研究していく

問

町営住宅の空室が多いと聞くが、現在の利用状況について伺います。

地域整備課長

8月末時点では、総戸数251戸に対し、総空室は55戸です。なお、総空室55戸のうち、解体予定を除く実際に入居可能な空室は31戸です。

再質問

以前は入居希望者が多く順番待ちが続いたと記憶しているが、空き住宅が増えた原因についてどう考えるか伺います。

地域整備課長 減少理由として、入居要件に合わないこと、人口減少による入居希望者の減少、住宅の老朽化により多様なニーズに行

合致しないことなどから、民営賃貸住宅への入居や戸建て住宅の取得を選択していると考えられます。また、仕事の都合などで他市町村へ転出する方もいると思われます。

問

防犯意識の向上に努めるとともに個人住宅への設置補助についても調査・検討する

答

小野町における防犯カメラの現在の設置状況について伺います。

地域整備課長

小野町公営住宅等長寿命化計画では、耐用年数が経過した古い住宅は解体し、比較的新しい住宅については長寿命化を図り長期的に活用していくこととしています。

小野町における防犯カメラは、町の中心部における交通量の多い交差点や小野小学校の通学路周辺などに17基設置しており、犯罪抑止効果のほか、警察への映像提供による捜査協力などにも貢献しています。そのほか、公共施設の屋内外にも21基設置されています。

問

防犯カメラの設置状況と個人住宅への設置補助について

答

高齢者世帯や一人世帯の方の安心のためにも、個人住宅への防犯カメラ設置に対する補助を実施すべきと考えるが町の考え方を伺います。

町民生活課長

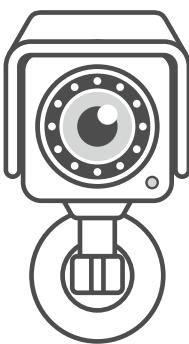
個人住宅への防犯カメラ設置に対する補助は、地域の防犯力向上に繋がるものではあります。が、町では町民一人ひとりが防犯に対する意識を持つことが重要と考えています。

高齢者世帯や一人世帯の方の安心のためにも、個人住宅への防犯カメラ設置に対する補助を実施すべきと考えるが町の考え方を伺います。

町民生活課長 個人住宅への防犯カメラ設置に対する補助は、地域の防犯力向上に繋がるものではあります。が、町では町民一人ひとりが防犯に対する意識を持つことが重要と考えています。

まずは、防犯意識の向上に繋がる広報活動を行った上で、財源や様々な課題を整理しながら防犯カメラの補助について調査・検討を行っていきます。

将来的には、ニーズにあつた新たな公営住宅のあり方についても今後調査研究してまいります。



問

河川改修事業にあわせた市街地環境整備で 居住環境の向上を

答

計画的に道路等の環境整備を行い、 魅力あるまちづくりに取り組む



竹川 里志 議員

問 右支夏井川河川改修事業が行われているが、下流部の堤防は一部狭く舗装されていない場所があり、登下校や車の通行に対する利便性が求められます。河川空間と市街地空間を融合させた環境整備が必要と思われますが、町の考え方を伺います。

地域整備課長

河川改修事

業区間では、河川工事にあわせた道路拡幅や側溝整備などが進められておりますが、事業化されていない一部区間では道路整備が難しい場所もあります。しかし、狭いな道路状況は、利用者の安全性や利便性、緊急時の対応などに影響するおそれがあるため、

問 右支夏井川河川改修事業が行われているが、下流部の堤防は一部狭く舗装されていない場所があり、登下校や車の通行に対する利便性が求められます。河川空間と市街地空間を融合させた環境整備が必要と思われますが、町の考え方を伺います。

問 小野町は南北に長い河川に沿った形をしているので、河川を活かしたまちづくりを考えるべきと思うがいかがですか。

地域整備課長

町中心部

は、河川改修事業にあわせて公園整備や、堤防を整備しサイクリングコースにするなど、河川を活かしたまちづくりを進めております。その他の地域は、県河川が多いため協議が必要ですが、堤防補強のために舗装した道路を活かしウォーキングコースにするなど、健康づくりにも配慮した

など、健康づくりや生活環境の向上を図りながら魅力あるまちづくりに取り組みます。

問 小野町は南北に長い河川に沿った形をしているので、河川を活かしたまちづくりを考えるべきと思うがいかがですか。

総務課長

4月に「夏井千本桜フェスタ」、6月に「陸上自衛隊第六音楽隊演奏会」を開催したほか、10月から11月にかけては、健康まつりや町植樹祭、記念式典や特別講演会、フォトコンテストの表彰式などを実施予定です。

そのほか、丘 灯至夫先生のマンガ化完成を記念した原画展やポケふた設置事業、ARフォトフレーム事業やデジタル健康ポイント事業なども行っております。

予算額については、総額で2663万2千円を計上しており、事業費の精査を行なながら執行しているところです。こうした記念事業により、本町の歩みを振り返り、町民の皆さんとの繋がりを深め、地域活力の向上につなげていきたいと考えています。



問

記念式典や特別講演会のほか、 様々な事業を実施していく

答

町制70周年記念事業の内容や予算は

問

町制70周年記念事業の内容や予算は



古崎 泰介 議員



小野高校の跡地にソフトボール場を設置してはどうか



跡地利活用の選択肢の一つとして調査研究を行う



はどうか、現・小野高の敷地を利用できるのではと考えるが、町の考えを伺います。

町長

現在検討している跡地利活用の選択肢の一つとして調査研究を進めていきたいと考えます。

町外を含めた多くのチームが小野町に集まり練習試合や大会ができるようなソフトボール場を

インター周辺に設置してはどうか、現・小野高の敷地を利用できるのではと考えるが、町の考えを伺います。



地元農産物を紹介する動画で、地産食材への理解を高める取り組みをしては



動画制作も含め、地場産品の理解度向上に向けた取り組みを検討する

熊本県山都町では、町内の生産者を取材し、給食に使用する野菜の紹介や農産物生産への思いを語ってもらう様子を動画にまとめ、小中学校の給食の時間に動画を見せる取り組みを行っています。小野町でも、地元農産物を紹介する動画を制作し、こども食堂などの場面で子どもたちへ見せるなど、地産食材への理解を高める取り組みをしてはどうか、伺います。

教育課長

町の学校給食では、小野町産のお米や野菜など地産食材を多く活用しております、教育の推進や地域の活性化など多くの利点があると考えます。

学校では、授業における食育指導のほか、給食によりや校内放送などによる地場産品への理解を深める取り組みを行っています。また、中学2年生で実施する職場体験では、生産者の方々にも受け入れにご協力をいただきており、生徒が生産者の努力や思いを学ぶ貴重な機会となっています。

今後は、提案のあった動画制作も含め、子どもたちが直接生産者と交流を図る機会を設けるなど、地場産品の理解度向上に向けた取り組みを検討します。



Suica カードと勉強場所について

問 小野新町駅や夏井駅でも Suica カードを利用できるようにしてはどうでしょうか。また、駅や中学校の近くに気軽に利用できる勉強スペースを設けてはどうでしょうか。

答 Suica のエリア拡大については JR 東日本に要望していますが、具体的にいつどの駅まで拡大されるのかは示されていません。町では引き続き、県を通して要望していきます。勉強スペースについては、文化の館内の郷土資料館や図書館に設置・開放しているため、多くの皆さんに利用いただけるよう広くお知らせしていきます。

ししど かずは
宍戸 万葉 議員

小野町の交通について

問 丸忠ストア近くの踏切を広げる工事はいつ頃開始されるのでしょうか。また、駅前駐車場付近の混雑と事故防止のために、マナーの呼びかけや警備員の配置、アプリによる駐車状況の確認などを検討してはどうでしょうか。

答 県でも踏切の幅を広げる調査を進めていますが、JR との調整も必要なため工事の開始時期はまだ決まっていません。引き続き、県・JR・町が協力し安全対策をしていきます。

また、駅前駐車場の警備員配置やアプリを活用した対策は、すぐの導入は難しいですが、利用者のマナー向上についてはすぐに取り組めるものですので、適正利用を呼びかけていきます。

せんざき ゆづは
先崎 柚葉 議員

目安箱の設置について

問 町に対する意見や質問が気軽にできるよう、QRコードを活用したデジタル目安箱を設置してはどうでしょうか。

答 さまざまなおからの意見を聞いて町政に反映させることはとても大事であると考えています。デジタル目安箱は、若い世代の方も含め気軽に意見を投稿することができ、町にとっても素早く情報を集約・分析できるためそれにメリットがある効果的なアイデアだと思います。

町では行政手続きのデジタル化を推進していることから、今後デジタル目安箱の設置に向け検討してまいります。

ねもと かほ
根本 香穂 議員

小野町中字

議員番号
7 番

【議長あいさつ】

今日の質問は、小野町で生活し小野町をより良くしたいと思っているからこそ出された提案・質問だったと思います。

少しの変化や違和感に気づくことができるからこそ改善できる部分があり、その積み重ねが町を良くしていきます。そして私たちも小野町がより好きになり、住み続けたいと思えるようになります。

今日の提案が少しでも町を良くしていくきっかけになれば嬉しいです。貴重な機会をいただきありがとうございました。

うさみことね
宇佐美 琴音 議長

届け、若者の声! ～中学生議会～

8月1日に開催された「小野町中学生議会」で、中学生議員の皆さんから出された質問と、それに対する町の答弁についてご紹介します。



にった
新田 さくや
朔也 議員

議員番号

1 番

空き家や田畠の有効利用について

問 空き家や空き農地を都会の人に安く貸し出して、小野町の魅力を知つてもらえれば、移住者の増加につながると考えられます。空き家や空き農地を、貸したい・売りたい人と、借りたい・買いたい人を結びつける役割を町が行つてはどうでしょうか。

答 町では、空き家や空き地の所有者が物件情報を登録し、ウェブサイトで公開することで、貸したい・売りたい方と借りたい・買いたい方とのマッチングを支援する「空き家・空き地バンク」を運営しています。今後は、移住希望者のニーズが多い「農地付き空き家」も登録ができるよう制度の見直しを行うなど、耕作されていない田んぼや畠の有効利用に努めています。



いそざき
磯崎 たいち
太一 議員

議員番号

2 番

小野町の観光業を盛り上げるために

問 町内の国道・県道にサイクリングロードを作り、サイクリストを呼び込んではどうでしょうか。また、マンホールに絵を描くマンホールアートを行つてはどうでしょうか。

答 今すぐのサイクリングロード整備は難しいですが、近隣自治体と連携した田村地域を巡る3つのサイクリングルートがあるため、まずは情報発信を積極的に行い、サイクリストを呼び込めるよう取り組んでいきます。

マンホールアートは、町の魅力発信ツールとして有効であり、今年度、株式会社ポケモンの協力によりポケモンのキャラクターを描いたマンホール蓋「ポケふた」を設置する予定です。まずは「ポケふた」を活用し、町の魅力発信を図っていきます。



さとう こうのすけ
佐藤 昂之介 議員

議員番号

3 番

エコカー用設備と学校のPCに関する提案

問 自動車用充電スタンドや水素ステーションを町が率先して整備してはどうでしょうか。また、中学校のパソコンを高性能なものへ更新するとともに、町全体のインターネット環境を高度にしてリモートワークに対応できるようにすれば、都市部からの移住者も増えるのではないかでしょうか。

答 急速充電設備は大きな電力が必要であり、設置運営には専門的技術や高額な費用が必要なため、民間の専門事業者が整備することが最善と考えます。新しい役場庁舎には、ぜひ急速充電設備を整備できるよう誘致していきたいと考えています。

中学校のパソコンについては、現在1人1台のタブレットも整備されているため、使用目的に応じた使い分けや、動作環境の改善にも努めています。町全体のインターネット環境については、公共施設への無料Wi-Fiを設置していますが、さらにインターネット環境の高度化を図れるよう関係機関と協議していきます。

中学生議員アンケート

中学生議会終了後、中学生議員を務めた7名の生徒にアンケートに回答していただきました。
その内容の一部についてご紹介します。

問1 あなたは、中学生議員をやってよかったです。また、その理由を教えてください。

回答	回答数
良かった	7
まあまあ良かった	0
あまり良くなかった	0
良くなかった	0

【主な理由】

- 自分の意見を町長や議会の皆さんに伝えられたから
- 町の議会がどのように行われているか、見ることができてよかったです
- 相手の話に耳を傾けるということを知ることができた
- 貴重な体験をできて楽しかった
- あまり言えない意見を直接言うことができたから

問2 中学生議員に立候補した理由を教えてください。（複数回答可）

回答	回答数
まちづくりに参加したかったから	4
議員になってみたかったから	1
先生に推薦されたから	0
その他	4

【その他の理由】

- 議長という立場がどのような役割か知りたかった
- 友だちに誘われた
- 先輩もやっていたから
- 小野町をもっとよくしたかった



問3 中学生議会を通して、議会に興味・関心を持ちましたか。

回答	回答数
すごく興味・関心をもった	3
興味・関心をもった	4
あまり興味・関心をもたなかった	0
まったく興味・関心をもたなかった	0

問4 中学生議会をこれからも続けたほうがよいと思いますか。

回答	回答数
ぜひ続けた方がよい	7
できれば続けたほうがよい	0
続けないほうがよい	0
どちらともいえない	0

問5 中学生議会を体験して、よかったですところや改善してほしいところなど、感想や意見を記入してください。

【主な感想・意見】

- 議会の場で自分の意見が言えたことが嬉しかったです。この意見が採用され、小野町がさらに良い町になることを期待しています。
- 町の政治について知ることができますよかったです。高校生になっても政治に興味を持ち続けたいです。
- 参加する前はどのようなことをするのか分からなかったが、貴重な体験をすることができて参加してよかったです。
- 普段はあまり町について考えることはなかったけど、参加するにあたって町の良いところや改善点を考える機会になつてよかったです。また、自分の考えを伝え、町長が答弁をしてくださり、疑問もなくなつてよかったです。
- ちゃんとした議会で、とても緊張しました。
- 政治や議会に興味をもつ学生を増やすために、中学生議会以外にも行政に学生が参加する場を設けてみてはいかがでしょうか。
- 小野町のことについて向き合う機会ができたのでよかったです。





追跡 どうなった?



あの一般質問を検証!

今回は、昨年の中学生議会で「検討したい」と答弁があったものについて、その後の町の対応を検証します。

《部活動を充実して行うための提案》

質問

事故やけが、熱中症などの対策のために、武道場へのエアコン設置を提案します。
(令和6年度中学生議会における質問)

答弁

武道場へのエアコン設置は、熱中症対策や練習の効率化による技術向上にも繋がると考えますが、大規模な空調設備の導入には、設置や維持管理に多額の費用が必要です。今すぐには難しいかもしれません、大型扇風機を増やすなど、町としても対策を講じていきます。

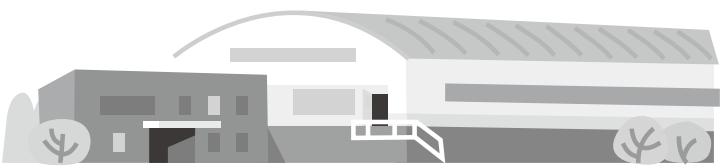
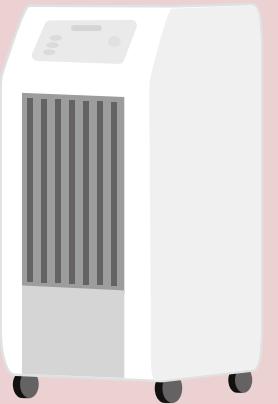


移動式冷風機

その後…

令和7年8月に、国の交付金などを活用して移動式冷風機を購入し、小野小学校へ5台、小野中学校に6台配備しました。

小野中学校では、体育館や武道場での部活動時に早速冷風機を活用し、熱中症対策に役立てていました。



研修レポート

研修先：北海道東川町・旭川市・東神楽町
期間：8月20日～22日

総務文教担当委員会 委員長
緑川 久子

当委員会では、多様な手法による地域づくりをテーマに掲げ、人口減少が顕著な地方の解決策思考のため、移住・定住・関係人口の方策やDXを用いた地方創生の取り組みについて行政調査を実施しました。

◆移住・定住・関係人口推進の取り組み

北海道東川町

東川町は人口約8,700人と小野町と同規模であり、「適疎なまちづくり」を目指し、旭川市に隣接した立地条件と大雪山の自然環境を生かした「写真の町」を基軸に、国際交流をはじめ景観住宅建築支援や空き家対策としての中間管理住宅制度や起業化支援事業を展開するなど、移住・定住・関係人口推進の取り組みにより若い世代を中心に入れ増を実現しています。

国際共創を目的とした全国で唯一の町立による東川町立日本語学校は、現在、100名ほどが在籍し、留学生には充実した奨学金制度や寮費の補助などの経済支援をはじめ、多文化共生室の設置、国際交流員（約10名）の配置、他にも、留学生の募集や選定に際しては台湾、中国、韓国、タイ、ベトナムなど5か国に海外事務所を設置するなど、留学生が安心して学べる環境が整えられています。東川町のこれらの人材と財源を要した留学生の受け入れ体制は、町としても多文化共生社会の在り方

や町立による日本語学校の可否を巡って検討すべき課題であると思われます。
他にも、東川小学校や「複合施設 共生プラザそらいろ」「せんとぴゅあ」「キトウシの森きどりん」など、子育て世代や全世代に対応した施設が整備されており、町にはクオリティの高いカフェや雑貨店が点在し、多様な人との交流による地域の活性化が図られています。
東川町の多様で総合的な町独自の取り組みは、持続可能な町づくりを考える上で参考になりました。



東川町の多様な地域づくりについての研修

◆「ICTパーク」を核とした “賑わう地域”づくり

北海道旭川市

旭川市「ICTパーク」は、産官学による協議会によって運営され、ICT人材の育成・交流やICT産業の活性化やまちなかの賑わい創出を推進するため、プログラミングや北海道最大級”eス

ポーツ”競技場を核として展開しているDXを活用した地域創生の取り組みを研修してきました。

◆「東神楽大学」の地方創生の取り組み

東神楽町

「東神楽大学」は廃校となつた小学校を活用した完全民営の地方創生複合施設として、住民懇意の場、地元特産品等の直売、レンタルオフィス等を開設し、関係人口増加や町の課題解決に向けて取り組んでいます。



旭川市 ICT パークを視察

今回の行政調査に丁寧に対応いただきました東川町、旭川市、そして東神楽町のみなさまに感謝申しあげます。

常任委員会

研修先…熊本県高森町・熊本県山都町
期間…7月16日～18日

厚生産業常任委員会 委員長
會田 百合子

当委員会では、人口減少に対応し持続可能な行政運営を展開しようとする自治体の先進事例を聴取・実施確認のため、「子育て支援政策」と「有機農業事業」をテーマに行政調査を実施しました。

◆「子育て支援政策」について

熊本県高森町

高森町は、人口約5,700人の自治体です。ライフスタイルに合わせた切れ目のない子育て支援策の情報発信のため、子育てハンドブックを町外用に10万部作成し、ふるさと納税返礼品への同封、県のリターン窓口（東京・大阪・福岡）への送付、県外イベント開催時の配布などに活用しています。

切れ目のない子育て支援の高森町



また、地元の熊本日日新聞やくまにちキャロット（子育て情報誌）への掲載や、加入率98%のたかもりポイントチャンネル（ケーブルテレビ）により情報発信が上手にされています。

他にも保育料の完全無償化や在宅育児支援手当など、町独自の支援を行っていますが、手当の申請は、子どもや保護者の話を聞く機会とするために、毎月提出としているとのことでした。

小野町では、すべての子どもをこども園に預かってほしいという声が多いと聞いていたため、地域性による考え方の違いを感じました。

全国的に出産数が減少しているなかで子育て支援を充実させる自治体は多く、小野町も子育て支援の充実はしていると思うので、情報発信について見習うべき点が多いと感じました。

◆「有機農業事業」について

熊本県山都町

山都町は、人口約12,000人の有機農業全国ナンバーワンのまちであり、その歴史は1970年代から始まっています。

有機農業とは、化学肥料、化学合成農薬に頼らず土が本来持つ力を活かし、生き物と共に生しつつ自然との調和を大切にしながら行う環境にやさしい農法のことです。

山都町有機農業協議会が設立されており、無農薬、有機農業生産間の交流をはかり有機農業経営の確立を目指しながら生産者グループや専門部会などで地域との取り組みをしています。

将来の担い手を確保するため、山都町独自の研修機関として設立した「山都地域担い手育成総合支援協議会」は、熊本県の認定研修機関に登録されています。受け入れ農家13件（うち有機農家7件）で、受け入れ農家は研修後も身近な相談者となり、

サポートを続けてくれる仕組みになっています。



有機農業全国No.1の山都町

実際に有機農業に携わっている町議会議長からは、毎日の記録を残すことが大変であると実体験に基づく話をされておりましたが、研修で拝見した動画では、若い世代の農家がどの方も自信と誇りを持つているように感じました。小学校でも給食に有機栽培の野菜と米を使い、給食の時間には生産者の映像を流すなど、農家とふれあう機会が設けられています。

山都町の有機農業は長い年月をかけて作りあげられたものであると感じました。担い手不足も含め、小野町においても農業が儲かる仕事として希望を持つことができる政策を考えていかなければならぬないと改めて感じました。

今回の行政調査に丁寧に対応いただきました高森町のみなさま、そして山都町のみなさまに感謝申し上げます。

議会活動トピックス

全国町村議会議員広報研修会に参加(8月28日)

東京都で行われた研修会に、議会広報編集委員から5名が出席しました。インタビュー記事の作成や、スマホを活用した動画撮影ノウハウなど、時代のニーズに合った広報の手法を学びました。



インタビュー記事について研修

平田村議会との交流会を開催(10月3日)

ふるさと文化の館や小野町児童館「キラッと☆おの」を視察しながら、今後のまちづくりに関する意見交換を行いました。



キラッと☆おでの視察

町村議会議員研修会に参加(10月20日)

県内の町村議会議員を対象にした議員研修会へ参加しました。研修では、住民参加型の議会改革の取り組み事例を学んだほか、今後の政局・政治展望に関する講演を聴講しました。



議会改革について学ぶ

三春町議会との交流会を開催(10月20日)

「議会改革の取り組みについて」をテーマに意見交換を行いました。それぞれの議会が抱える課題や今後の対応策について、両議会から多くの意見が出され、有意義な意見交換会となりました。



各議会の取り組みを報告

議会活動日誌

8月

- 1日 小野町中学生議会
4日～6日 決算監査（書類審査）
5日 百歳賀寿贈呈式
7日 県町村議会議長会正副会長会議・理事・監事合同会議（福島市）
県町村議会議長会定期総会決議に基づく県への要望活動（福島市）
8日 月例全員協議会
総務文教常任委員会
議会運営委員会
11日 広野町サマフェス 2025（広野町）
15日 おのまち「夏まつり」
18日 県町村議会議長会正副議長・事務局長研修会（福島市）
20日～22日 総務文教常任委員会行政調査（北海道東川町・旭川市）
23日 町民グラウンドゴルフ大会
釈迦堂川花火大会（須賀川市）
24日 市町村対抗野球大会小野町チーム激励金交付式
25日 例月出納検査
決算監査報告
26日 議会運営委員会
全員協議会
27日 県町村議会議長会定期総会決議事項に係る国への要望活動（東京都）
28日～29日 全国町村議会広報研修会（東京都）

9月

- 3日 教育行政評価報告
4日 定例会9月会議（本会議）・常任委員会
新庁舎建設等検討特別委員会
5日 定例会9月会議（一般質問）
7日 小野町総合防災訓練
8日～11日 定例会9月会議（予算決算常任委員会）
12日 定例会9月会議（本会議）
月例全員協議会

- 14日 総鎮守諏訪神社秋季例大祭
20日 百歳賀寿贈呈式（2件）
22日 小野町戦没者追悼式
25日 例月出納検査
市町村対抗ゴルフ大会小野町チーム報告会
27日 塩竈神社例大祭
小野大倉獅子奉納
28日 田村市制施行20周年記念式典（田村市）

10月

- 2日 市町村対抗ソフトボール小野町チーム激励会
3日 平田村議会との交流会
5日 芝山町制七十周年記念式典（千葉県芝山町）
かさま新栗まつり（茨城県笠間市）
6日 笠間市長表敬訪問 農園視察（茨城県笠間市）
7日 県町村議会議長会理事・監事合同会議（福島市）
小野町老人クラブ連合会長杯グラウンドゴルフ大会
9日 公立小野町地方総合病院企業団議会定例会
10日 月例全員協議会
11日 小野小学校運動会
第15回全国発酵食品サミットinとみや（宮城県富谷市）
16日 全国町村監査委員研修（東京都）
17日 郡山地方広域消防組合議会10月定例会（郡山市）
19日 小野町消防団秋季検閲式
20日 県町村議会議員研修会（郡山市）
三春町議会との交流会（三春町）
22日 新庁舎建設等検討特別委員会
全員協議会
広報編集委員会
24日 例月出納検査
26日 おのまち健康まつり 2025
田村三方部親善剣道大会
30日 右支夏井川河川改修要望活動（福島市）

議会からのお願い

議会だよりの取材のため、腕章をつけた広報編集委員会の委員がお伺いしますので、ご理解・ご協力をお願いします。

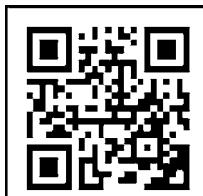
議会からの お知らせ

定例会 12月会議は
12月4日(木)から開会します。
一般質問は12月5日(金)の予定です。
ぜひ傍聴にお越しください。

- 傍聴席が満席の場合は、会議室でのテレビ視聴となる場合があります。
 - 一般質問の様子は、YouTubeでのライブ配信を行います。

※詳しくは小野町議会事務局までお問い合わせください。(☎0247-72-6930)

QRコードから
アクセス
してください



スマホ用アプリ
マチイロで配信しています／

より多くの脚本に「おのまち議会だより」をお題にやるもへ、スマートフォン用無料情報誌アソコ「マチイロ」で配信をはじこね。

などの苗木10000本が植樹されました。この苗木たちが立派な成木になる頃、今とはまた違った自然豊かな小野公園の景色が見られるとと思うと、成長が待ち遠しくなります。



11月9日に小野町で開催された「第8回ふくしまのまちなみ」

今年最後の議会になりました。
いつもお読みいただきありがとうございました。

小野町議会

【小野町議会広報編集委員会】

委	員	長	田村	弘文
副	委	員	中野	孝一
委		員	先崎	勝馬
委		員	綠川	久子
委		員	會田	百合子
委		員	羽生	洋市
委		員	國分	順一
委		員	橋本	善雄

小野町議会広報編集委員会
委員 橋本 善雄

何事も、企画し無事終えるまでには多くの方々の協力や支援が必要です。小野町に置き換えてみると、町づくりやイベント開催も町民の皆様のご協力がなければ成り立ちません。是非イベントへの参加や、ご提案・ご意見をいただき、町が活気づくようご支援をお願いしたいと思います。

2026年も持続可能な町を目指し、小野町議会も最善を尽くしてまいります。実り、スポーツ、食欲の秋となりました。旬のものを食べ、体を動かし寒い冬に負けない体づくりをしていきましょう。

今年も多くの話題がありましたが、開幕前はネガティブな声が目立ち、心配された大阪関西万博も、結果的には成功して終えたと感じました。



おのまち議会だよりは、
環境にやさしいインキを
使用しています

小野町議会

検索

[小野町議会のホームページも
ご覧ください](#)